

関係機関等との連携・協力

全国の教育委員会、学校、関係団体等との連携・協力

NISEでは、全国の教育委員会、特別支援教育センター、学校関係者等を研究協力機関・協力者として原則公募により依頼し、研究課題等に関する情報・資料提供、指導・助言、共同開発・研究、開発した指導法・試作の実践、教材開発等の協力を得ることにより、实际的・実践的な研究の円滑な推進を図っています。

また、関係学校長会等が実施する調査研究への協力を行うほか、全国特別支援教育推進連盟と連携・協力し、文部科学省と三者共催で全国特別支援教育振興協議会を開催しています。

さらに、全国の都道府県・政令指定都市立教育センターが加入する全国特別支援教育センター協議会と連携して、各センターの機能向上のため、教育相談、教員研修、調査研究、管理運営の4つの分野の研究協議会を年1回、開催しています。



全国特別支援教育センター協議会の様子

日本人学校等への相談支援

NISEでは、日本人学校に対して、特別支援教育に関する情報提供を定期的に実施し、保護者も含めた関係者への情報発信を行うとともに、日本人学校の教員や保護者を対象に教育相談・支援をしています。

また、文部科学省と連携し、日本人学校等在外教育施設に赴任する教員（管理職）の研修会において、情報提供を行っています。

筑波大学附属久里浜特別支援学校との相互協力

筑波大学附属久里浜特別支援学校は、昭和48年9月に、国立特殊教育総合研究所（当時）が行う実際的な研究に協力する目的で、重度・重複障害児を対象に教育を行う学校として設置された国立久里浜養護学校を母体としています。その後、平成16年4月1日の国立大学等の法人化に伴い、筑波大学に移管され、知的障害を併せ有する自閉症児を対象に教育を行う、幼稚園及び小学部を置く学校として再出発しました。

同校では、自閉症のある幼児児童に対して、幼稚園及び小学校に準ずる教育を行うとともに、障害による困難を改善するための教育を行っています。また、筑波大学における幼児児童の教育に関する研究や、学生の教育実習の協力等が進められています。

なお、平成16年7月、NISEと筑波大学との間で教育研究交流に係る協定を締結し、NISEと同校は相互協力の下に様々な取組を推進しています。



筑波大学附属久里浜特別支援学校

詳しくはこちら→

筑波大学附属久里浜特別支援学校WEBサイト

<http://www.kurihama.tsukuba.ac.jp/>